



# Hope Lights Our Way

## 希望の道を、つなごう。

### 東京2020オリンピック聖火リレー



東京2020オリンピック聖火リレーのグランドスタートが3月25日、福島県の復興のシンボルであるナショナルトレーニングセンターJヴィレッジで行われました。田村市では3月27日に、都路町の都路大橋付近から古道体育館までの約1・17キロメートルを6人のランナーが聖火をつなぎました。聖火リレーは、7月23日に開会式が行われる、オリンピックスタジアム新国立競技場へとつながっていきます。



**#6** 佐久間辰一さん  
(田村市)

Photo by Tokyo 2020

#### 全ての人に感謝したい

東京五輪聖火リレーランナーとして、「感謝の思い」を胸に、走らせていただきました。

震災復興に取り組んでくれた皆さん、復興支援としてヒマワリの種を届けてくれた全国の皆さん、コロナ禍で聖火リレー準備にあられたスタッフの皆さん、伴走をしていただいた都路小学校の皆さん、周囲の環境整備や振る舞いの餅の準備をくださった都路地区の皆さん、そして、応援して下さった市民の皆さんありがとうございました。



**#5** 渡部佑悟さん  
(群馬県佐波郡玉村町)

Photo by Tokyo 2020

#### 福島県の復興支援を続けます

田村市の第5区間の聖火ランナーを務めさせていただいた渡部佑悟です。養豚管理獣医師をしています。福島県の養豚農家さんが風評被害を受けている姿に耐えられず、安全な豚肉であることを証明するJGAP認証の取得支援をさせていただいております。

第5区間では多くの方々に沿道に集まっていただき、温かい応援をしていただきました。皆さんの笑顔は一生忘れません。とても楽しい聖火リレーでした。ありがとうございました。



**#4** 庄司秀樹さん  
(いわき市)

Photo by Tokyo 2020

#### 一生の思い出、都路町とともに

出発地点に足を踏み入れたとき、どこか懐かしい日本の原風景を感じました。昔ながらの街並みが残る街道を故郷に帰ってきたような思いで走り、沿道の皆さんの優しい笑顔と温かな声援に包まれながら、無事聖火をつなげることができました。

都路町を走れた幸せは一生の思い出です。コロナ禍でさまざまな制限がある中、対応されたスタッフの方々、現地の皆さん本当にありがとうございました。このご縁を胸に日々邁進してまいります。



**#3** 久永真由美さん  
(本宮市)

Photo by Tokyo 2020

#### 感謝の気持ち、聖火リレーで伝える

今までの人生多くの方々を支えられて来ました。その感謝の気持ちを聖火リレーを通して伝えることができました。それも地域の方々の沿道での優しい笑顔、温かい拍手の応援が励みとなり、無事次の方へ聖火をつなげることができました。

田村市を走れて幸せです。本当にありがとうございました。まだコロナ禍で困難な状況ですが、つながった希望の火が灯ることを祈っています。



**#2** インディアン吉田さん  
(愛知県小牧市)

Photo by Tokyo 2020

#### 復興五輪、福島のために走る

辞退すべきか？本気で悩みました。世界中が混乱している最中に走って良いものか？直前まで迷いましたが、思いは一つ「復興五輪」故郷・福島、東北の復興なくして日本の再生はありません！「初志貫徹」心を決めて、遠路、故郷の大地を目指しました。

田村市へ到着すると沿道をきれいに清掃する市民の皆さんの姿。集合場所で「おかえりなさい」と、本物のお・も・て・な・しで出迎えられ、迷いが消えました。福島人に生まれて良かった♪ありがとうございました。



**#1** 門馬弘一さん  
(田村市)

Photo by Tokyo 2020

#### 力を合わせて困難に立ち向かおう

地元、田村市で聖火リレーに参加できたことを、大変うれしく思っております。何よりも、子どもから大人まで多くの方より、沿道から温かな応援をいただき、胸がいっぱいになりました。

1人では微力でも、多くが集まれば力になることを感じる所でもありました。今回、家族や友人、応援いただいた方への感謝の気持ちを持ち、オリンピックの開催、コロナの収束、復興に向かい前進することを願い走らせていただきました。ありがとうございました。